

第 31 回

日本臨床検査専門医会

春季大会

The 31th Spring Meeting of Japanese Association of
Clinical Laboratory Physicians

抄 録 集

会期: 令和 3 年 5 月 21 日(金)・ 22 日(土)

* 全面Web開催へ変更になりました *

大会長 植木 重治

秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座

秋田大学医学部附属病院 中央検査部



大会テーマ:どさいぐ? Where are we going?

このたび、歴史ある日本臨床検査専門医会春季大会を開催させて頂くこととなり、事務局一同、鋭意準備を進めてまいりました。

当初の予定では、秋田駅に隣接した秋田拠点センターALVE とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催を計画しておりましたが、急速な COVID-19 感染拡大の状況を鑑み、本部ともご相談の上、全面Webで開催とさせて頂くこととなりました。新緑の秋田でお会いできないのは大変残念ではありますが、ご理解のほどお願いいたします。

「どさいぐ?」は「どこへ行く?」の秋田弁です。グローバルに理解してもらえるよう英訳すれば、Where are we going? になります。第 31 回の大会テーマは、ローカルとグローバルな言葉を並べたものにしてみました。演者の先生方のご協力により、本大会は大変充実した内容となっております。

また、学生・大学院生は参加費無料ですので、ぜひ多くの若い方に臨床検査の魅力を知って頂ければと考えています。

私たちはこれからどこに行くのか、答えはひとつではありませんが、参加される皆様が次の一步を少しでも力強く踏み出せるような春季大会になれば幸いです。

2021年4月23日

第 31 回日本臨床検査専門医会春季大会
大会長 植木重治

ご案内

1) 会期

日時	時間
5月21日(金)	13:00~18:00
5月22日(土)	9:00~15:00

2) 会場

全面Web開催へ変更になりました

3) 会議

日時	時間	会議名
5月21日(金)	13:00~14:00	全国幹事会
	14:30~15:00	総会
	15:00~17:00	生涯教育後援会

4) 参加費

大会参加費(生涯教育講演会参加費 2,000円を含む)
5,000円

※オンライン決済サービス(名鉄観光サービス株式会社) <https://www.mwt-mice.com/events/jaclap2021>

初期研修医・学生(大学院生含む)の参加は無料です。

証明には施設または所属長の証明書、学生証の画像提示をお願いいたします。

5) 受付

全面Web開催へ変更になりました

6) ご講演の先生/座長の先生方へ

・担当セッションが始まる10分前までにご準備の上、ご着席をお願いします。

7) 問い合わせ・連絡先

秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話/Fax:018-884-6209

参加手続きについて（事前参加登録）

- 1) 参加にあたり、事前登録をお願いします。
事前参加登録専用ページより参加方法を選択し、申し込みをお願いいたします。
※学会ホームページより事前参加登録専用ページへアクセスしてください。
【<https://www.mwt-mice.com/events/jaclap2021>】
- 2) 参加登録は、4月19日(月)から5月22日(土) 15:00 までとなります。
初期研修医および学生(大学院生含む)の方は、それを証明する画像データを参加登録専用サイト内にアップロードしてください。
- 3) 参加費はクレジット払いに限らせていただきます。(VISA、Master、JCB、Diners、Amex 対応)
領収書と参加証は事前登録されたメールアドレスへ送付いたします。
- 4) 事前参加登録手続終了後、「Zoom ウェビナーURL」が記載されたメールが送信されます。
開催日の一週間前位を目途に随時ご連絡いたします。
迷惑メール対策などでドメイン指定を行っている場合は、受信できない場合がありますので、受信環境を整えていただけますようお願いいたします。
※受信できない場合やご不明な点は お手数ですが【akite@mwt.co.jp】までご連絡下さい
学会に参加される場合は「Zoom ウェビナーURL」よりご参加ください。

共通講習・臨床検査領域講習の手続きについて

認定条件：出席管理および受講ログ管理について

※手続きにて登録される個人情報については、出席管理以外に利用いたしません※

- 1) Zoom ウェビナー登録
事前参加登録手続後に送信される「Zoom ウェビナーURL」へアクセスすると、登録画面が表示されますので、氏名・メールアドレス会員番号、配属先を入力するフォームへ各情報の入力をお願いいたします。
(まれに氏名の入力においてエラー表示が出る場合があります。その際はお手数ですがアルファベットで氏名の入力をお願いいたします。※ニックネーム等での登録はご遠慮下さい)
- 2) 受講ログ管理
Zoom ウェビナー登録フォームへの入力が完了してから、視聴が可能となります。
この時、Zoom ウェビナー内の視聴者専用ルームへ入室します。入室したタイミングで参加時刻と退出時刻のログが残ります。

3) 共通講習におけるオンラインテストへの回答

その日の共通講習配信中に Zoom の【チャット】機能を利用してオンラインテスト専用サイトの URL (Google フォームを利用) をご案内します。その URL をクリックして専用サイトへ進んで回答をして下さい。共通講習の単位認定を希望する方は必ず受講してください。回答後は「送信」ボタンを必ず押して終了して下さい。

4) 受講証明書の発行

条件を満たした受講者には、事前登録されたメールアドレスへ証明書を送付します。

【当日の視聴方法】

- 1) 視聴は、Zoom 内の視聴専用サイト(以下 視聴ルーム)にて行います。
- 2) 事前参加登録は、Zoom ウェビナー登録を必ず行って下さい。
- 3) 視聴ルームでは、Zoom ホストによる許可がない限り、発言することはできません。

【質疑応答について】

- 1) 質問がある方は、Zoom の「手を挙げる」機能をご使用下さい。
- 2) 「手を挙げる」の後に、座長に指名されると会話が可能な状態になります。
- 3) “ホストはあなたがマイクをミュート解除するよう希望しています”と案内が表示されたら《今すぐミュート解除》をクリックし、マイクをONにして質疑応答を行って下さい。
ここで質問者の画面には切り替わらず、音声のみでのご質問となりますのでご了承下さい。
質疑応答が終わり次第、ミュートボタンを押してマイクをオフにして下さい。

【プログラム】

1日目:2021年5月21日(金)

全面Web開催へ変更になりました

13:00～14:20 全国幹事会

14:30～15:00 総 会

15:00～17:00 生涯教育講演会 **【共通講習:医療安全講習 2 単位】**

座長 古川 泰司 (帝京大学医学部附属病院中央検査部)

田部 陽子 (順天堂大学医学部臨床検査医学講座)

1. データ駆動型アプローチによる医療の安全と質の向上

猪俣 武範 (順天堂大学医学部)

2. チーム医療の質向上

小西 竜太

(労働者健康安全機構 非常勤医師研修アドバイザー、三菱商事ヘルスケア部シニアマネジャー)

17:00～18:00 特別講演 I 「臨床検査専門医としての取り組み」 **【領域講習 1 単位】**

座長 横崎 典哉 (広島大学病院検査部)

1. 臨床検査医のプレゼンス向上への取り組み

神田 晃 (関西医科大学附属病院臨床検査医学センター センター長)

2. 衛生検査所立入検査の概要

柳谷 由己、石井 正人 (秋田県健康福祉部医務薬事課)

植木 重治 (秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座)

2日目:2021年5月22日(土)

全面Web開催へ変更になりました

09:25～09:30 開会挨拶

植木 重治 (秋田大学大学院総合診療・検査診断学講座)

09:30～10:30 シンポジウム I 「臨床検査専門医キャリアの今後」 【領域講習 1 単位】

座長 山田 佳之 (東海大学医学部医学科総合診療学系小児科学)

1. 留学のすゝめ ～臨床医が留学する意義とは？～

川上 聡経

(Cutaneous Biology Research Center, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School)

2. 臨床検査専門医制度の現状と今後

山田 俊幸 (自治医科大学臨床検査部)

(小休憩)

10:40～11:40 特別講演 II 【領域講習 1 単位】

座長 𠂇谷 直人 (国際医療福祉大学熱海病院検査部)

日臨技の最近の現況から見た臨床検査医への期待

宮島 喜文 (日本臨床衛生検査技師会)

11:40～11:55

秋田での春季大会開催にあたって

尾野 恭一 (秋田大学大学院医学系研究科長)

次期会長挨拶

橋口 照人 (鹿児島大学)

11:55～12:50 ランチョンセミナー

共催：株式会社 シノテスト

座長 植木 重治（秋田大学大学院総合診療・検査診断学講座）

臨床における亜鉛の重要性 -COVID-19 との関連も含めて-

土屋 誉（仙台市医療センター仙台オープン病院）

（小休憩）

13:00～15:00 シンポジウムⅡ 【共通講習:感染対策講習 2 単位】

新型コロナウイルス感染症（検査体制・対象・精度管理・運用の見直し）:各施設から

座長 柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

嵯峨 知生（秋田大学医学部附属病院感染制御部）

1. 新型コロナウイルス感染症対策におけるPCR検査の精度課題と対応

宮地 勇人（東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学）

2. 新型コロナウイルス感染症検査における大学病院の役割

—PCR検査体制の拡充と地域医療への貢献—

柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

3. 求められる臨床検査部であるために —新型コロナウイルス感染症検査を通して—

松本 剛（信州大学医学部 附属病院 臨床検査部）

4. 市中教育病院における新型コロナウイルスの検査

上原 由紀（聖路加国際病院）

15:00～ 閉会挨拶

植木 重治（秋田大学大学院総合診療・検査診断学講座）

5月21日(金) 15:00~17:00

生涯教育講演会

座長

古川 泰司 (帝京大学医学部附属病院中央検査部)

田部 陽子 (順天堂大学医学部臨床検査医学講座)

1. データ駆動型アプローチによる医療の安全と質の向上

猪俣 武範 (順天堂大学医学部)

2. チーム医療の質向上

小西 竜太

(労働者健康安全機構 非常勤医師研修アドバイザー、三菱商事ヘルスケア部シニアマネジャー)

【共通講習(医療安全講習)2単位】

※本講演は、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会より、日本専門医機構 基礎領域臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習・共通講習の単位として認定されています。

❖ 本講演の受講証明書について ❖

Web 受講の際、開始後 15 分を超えてからのログイン、終了前 15 分より前のログアウトは受講とみなされませんのでご注意ください。Web 配信後、テスト出題がございますので、忘れずに受講してください。

80%以上の正答で合格となります。正答率を確認し、後日受講証明書をメールにてお送りいたします。

データ駆動型アプローチによる医療の安全と質の向上

順天堂大学医学部眼科学講座
順天堂大学大学院医学部デジタル医療講座
順天堂大学大学院医学部病院管理学講座
猪俣 武範

内閣府の第5期科学技術基本計画で提唱された未来社会像 Society5.0 はサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)を指す。この Society5.0 時代の医療として、電子カルテや疫学調査等の医療情報から収集した「従来の医療ビッグデータ」だけでなく、モバイルヘルスやセンサー機器等を通じて、個々人の多様な症状、頻回・継続・遠隔・リアルタイム・双方向性データ、生体センサリングデータ、ゲノム・オミクス情報等の「新しい医療ビッグデータ」を収集し、人工知能(AI)にて解析することにより、データ駆動型多階層横断的アプローチによる新たな価値の実現が待たれる。

本講演では、ビッグデータを利活用したデータ駆動型アプローチによる医療の安全と質の向上に対する新たな価値の実現に向けた展望を概説する。

チーム医療の質向上

労働者健康安全機構
小西 竜太

チーム医療とは日々の診療において、多種多様な医療スタッフが連携・補完して、患者に対して適格な医療を提供することにある。さらには患者単位だけではなく医療機関を単位としても、職種横断的な医療チームが医療安全・質管理を図っている。昨今の COVID-19 において、特にコロナ患者を受け入れてきた医療機関は、患者及び病院、地域に対してチーム医療を提供して、各地で様々な課題を乗り越えてきた。ワクチン接種や第 4 波に対しても適切な医療提供が行われるだろう。一方でこれまで実行してきた医療制度改革においても、地域医療構想を推進する中で、各医療機関は医療機能を実現するチーム医療を構築しなければならない。また医師の働き方改革を実現するためには、診療業務における職種間連携を深化する必要がある。今回の講演では、組織マネジメントの観点から、「チーム医療の質向上」をテーマに、今後の医療機関での理想的なチーム医療について話してみたい。

5月21日(金) 17:00~18:00

特別講演 I 「臨床検査専門医としての取り組み」

座長

横崎 典哉 (広島大学病院検査部)

1. 臨床検査医のプレゼンス向上への取り組み

神田 晃 (関西医科大学附属病院臨床検査医学センター)

2. 衛生検査所立入検査の概要

柳谷 由己、石井 正人 (秋田県健康福祉部医務薬事課)

植木 重治

(秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座)

【臨床検査領域講習 1 単位】

※本講演は、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会より、日本専門医機構 基礎領域
臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習の単位として認定されています。

❖ 本講演の受講証明書について ❖

Web 受講の際、開始後 15 分を超えてからのログイン、終了前 15 分より前のログアウトは受講とみなされま
せんのでご注意ください。

臨床検査医のプレゼンス向上への取り組み

関西医科大学附属病院 臨床検査医学センター
センター長 神田 晃

臨床検査専門医は、検査結果の解釈や検査の情報・知識を臨床医に提供することで、検査部と各診療科の医師との橋渡し役を果たしている。また、検体の精度管理、システム管理、臨床検査部の運営、新しい検査法の開発などその業務内容は、多岐に渡る。さらに、大学などの教育機関では、教育と研究活動などもおこなっていく必要がある。しかし、施設内での臨床検査医の役割はあまり知られていない。臨床検査医の存在意義を高めるためには、積極的に新しい業務に参加・主導し、施設内にアピールする必要がある。

そこで、本講演では、臨床検査医のプレゼンス向上への我々の取り組みとして、① 新型コロナウイルスに対する検体採取体制と qPCR 検査体制の確立、② 遺伝子検査(特に生殖細胞系列の遺伝子検査)における個人情報の管理方法の確立、③ 臨床検査医主導による学内バイオバンクセンターの設立に関して述べていきたい。

衛生検査所立入り検査の概要

秋田県健康福祉部医務薬事課^{※1}

秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座^{※2}

柳谷 由己^{※1}、植木 重治^{※2}、石井 正人^{※1}

医療機関等からの依頼を受け検体検査業務を行う衛生検査所において、信頼に足る精度の検査が行われることは、適切な医療を提供する上で不可欠である。

このため、都道府県、保健所設置市及び特別区は、「臨床検査技師等に関する法律」の規定に基づき、それぞれ管轄する区域に所在する衛生検査所を対象に立入検査を実施し、業務が適正に行われ検査の精度が確保されるよう、必要な助言、指導等を行っている。

秋田県が行う立入検査への同行をお願いしている臨床検査専門医をはじめとする精度管理の専門家が、地域全体の臨床検査の質の向上に取り組んでいる一例として、立入検査の際、我々がどのような点に着目し検体検査業務の適正性を判断しているのか等を具体的に紹介する。

5月22日(土) 9:30~10:30

シンポジウム I 「臨床検査専門医キャリアの今後」

座長

山田 佳之 (東海大学医学部医学科総合診療学系小児科学)

1. 留学のすゝめ ～臨床医が留学する意義とは?～

川上 聡経

(Cutaneous Biology Research Center, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School)

2. 臨床検査専門医制度の現状と今後

山田 俊幸 (自治医科大学臨床検査部)

【臨床検査領域講習 1 単位】

※本講演は、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会より、日本専門医機構 基礎領域
臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習の単位として認定されています。

❖ 本講演の受講証明書について ❖

Web 受講の際、開始後 15 分を超えてからのログイン、終了前 15 分より前のログアウトは受講とみなされま
せんのでご注意ください。

留学のすゝめ ～臨床医が留学する意義とは？～

Cutaneous Biology Research Center,
Massachusetts General Hospital,
Harvard Medical School
川上 聡経

私は子供の頃から英語が好きで、いつか海外に行きたいと思っていました。夢が叶い、現在、アメリカに留学して研究をしています。最近、医師に限らず、留学を希望する人が減っているとよく聞きます。留学は、日本には経験することができない言葉や文化の違いを体験し学ぶよい機会です。私が運営に関わっている海外日本人研究者ネットワーク(UJA)が実施した留学経験者へのアンケートによると、研究などの成功の如何に関わらず、ほとんどの方が「留学してよかった」と答えました。私が自分と友人たちの経験を通して考える「医師が留学する意義」について、COVID-19パンデミックが留学に与えている影響を交えて、お話しします。本講演が、皆様に留学を考えてもらい、留学される方により留学をしていただくキッカケとなりました幸いです。

臨床検査専門医制度の現状と今後

日本臨床検査医学会専門医担当理事
自治医科大学臨床検査医学
山田 俊幸

臨床検査専門医の当面のキーワードは「質・量」になると思われます。

わかりやすい量から取り上げますと、毎年専門医の更新に一定の人数が該当しますが、社会に認知される専門医である日本専門医機構認定臨床検査専門医として更新される方はここ毎年 70%前後です。機構専門医として更新されない方々の理由は、年齢的なもの、主たる専門が他にあって当専門医を維持することが困難または維持する必要性が乏しいというものです。専門医総数の増減はこの断念される人数と新しく認定される人数とのバランスで決まりますが、そのバランスを大きく正の方向にもっていくのは困難であるという現状です。将来的には少ないながら安定した総数の確保が望まれます。

質の向上がさらに重要となります。機構専門医制度で目指すのは、プログラム整備基準*に記載されたことを満たす専門医です。自己批判になりますが、現在の指導層は、「専門」「得意」などを優先して、「不得意」な分野をも併せ持つものが多くを占めます。これからは「不得意」を持たず臨床検査のオールマイティであることが求められます。

5月22日(土) 10:40~11:40

特別講演Ⅱ

座長

谷 直人 (国際医療福祉大学熱海病院検査部)

日臨技の最近の現況から見た臨床検査医への期待

宮島 喜文 (日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長/参議院議員)

【臨床検査領域講習 1 単位】

※本講演は、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会より、日本専門医機構 基礎領域
臨床検査専門医更新のための臨床検査領域講習の単位として認定されています。

❖ 本講演の受講証明書について ❖

Web 受講の際、開始後 15 分を超えてからのログイン、終了前 15 分より前のログアウトは受講とみなされま
せんのでご注意ください。

日臨技の最近の現況から見た臨床検査医への期待

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長・参議院議員
宮島 喜文

世界中で新型コロナウイルス感染症が大流行となった 2020 年、社会・経済活動が大きな影響を受ける中、我が国唯一の臨床検査に係る学術・職能団体である本会は、国からの感染拡大防止対策の支援要請に応えつつ、PCR 検査等体制については行政機関だけでなく、臨床現場での実施や検体採取の拡大に向けて取り組んできた。

一方、日本が経験したことのない人口減少・高齢化社会の到来並びに AI 技術の活用等から、今後大きく変化することが予想される健康・医療分野での臨床検査の価値の創出と臨床検査技師の職域確保が重要課題と捉え全力で取り組む必要がある。

具体的には、厚生労働省が進めている臨床検査技師の養成所等教育の見直し、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する取り組み、「医療法等に関する法律」の一部改正により創設された精度管理に基づく新たな品質・精度保証制度の構築、学会のあり方など生涯教育制度のあり方など検討のために、本会与都道府県技師会の情報共有、連携強化のため 47 都道府県から理事を選出するための定款の改正を進めた。これらの日臨技主要事業の展開と臨床検査医への期待について述べる。

5月22日(土) 11:55~12:50

ランチオンセミナー

座長

植木 重治 (秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座)

臨床における亜鉛の重要性 —COVID-19との関連も含めて—

土屋 誉 (公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 院長)

臨床における亜鉛の重要性 -COVID-19 との関連も含めて-

公益財団法人仙台市医療センター
仙台オープン病院 院長
土屋 誉

亜鉛は体内に約 2g 存在する必須微量元素のひとつで感染制御を含めて生体活動に不可欠であるが亜鉛不足が多いことが指摘されている。亜鉛欠乏は味覚異常だけでなく発達遅延、創傷治癒遅延、下痢、免疫低下などに加え、元気度の減退、うつ状態など精神状態にも影響を及ぼすといわれている。われわれが行った調査では各種集団の血清亜鉛値は元気な高齢者、閉じこもり高齢者、施設入所者、PEG 症例の順に血清亜鉛値は低下し、社会的身体的活動性と亜鉛との関連性が認められた。また、現在パンデミックを引き起こしている新型コロナ感染について自宅またはホテル待機症例の血清亜鉛値を測定すると、50 歳以上の症例では健常者に比べて明らかに低値であった。また半数に CT 撮影にて半肺炎像を認めたが、肺炎像を呈する症例は高齢でかつ血清亜鉛値は低値であった。

亜鉛欠乏を見出し、補充も考慮するにはまず血清亜鉛値の測定が必須である。

5月22日(土) 13:00～15:00

シンポジウムⅡ

新型コロナウイルス感染症(検査体制・対象・制度管理・運用の見通し):各施設から

座長

柳原 克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

嵯峨 知生(秋田大学医学部附属病院感染制御部)

1. 新型コロナウイルス感染症対策におけるPCR検査の精度課題と対応
宮地 勇人(東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学)
2. 新型コロナウイルス感染症検査における大学病院の役割
—PCR検査体制の拡充と地域医療への貢献—
柳原 克紀(長崎大学大学院 病態解析・診断学分野/検査部)
3. 求められる臨床検査部であるために —新型コロナウイルス感染症検査を通して—
松本 剛(信州大学医学部附属病院 臨床検査部)
4. 市中教育病院における新型コロナウイルスの検査
上原 由紀(聖路加国際病院 臨床検査科/感染症科)

【共通講習(感染対策)2単位】

※本講演は、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会より、日本専門医機構 基礎領域臨床検査専門医更新のための共通講習(感染対策)の単位として認定されています。

◆本講演の受講証明書について◆

Web 受講の際、開始後 15 分を超えてからのログイン、終了前 15 分より前のログアウトは受講とみなされませんのでご注意ください。Web 配信後、テスト出題がございますので、忘れずに受講してください。

80%以上の正答で合格となります。正答率を確認し、後日受講証明書をメールにてお送りいたします。

新型コロナウイルス感染症対策における PCR 検査の精度課題と対応

東海大学基盤診療学系臨床検査学
宮地 勇人

SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)感染(COVID-19)は、WHOにて2020年3月11日にパンデミック宣言がなされ、流行拡大が続いている。我が国では、PCR法を含めた核酸増幅法によるSARS-CoV-2 RNA検査(以下、PCR検査等)の実施件数を伸ばすため、行政検査のPCR検査は保険適用されている。しかしながら、感染制御に十分活用されていない。緊急事態宣言の発令は、行動抑制の結果、感染拡大は制御されるものの効果は一時的である。また、緊急事態宣言の繰り返しは、社会・経済を疲弊させる。感染制御と社会・経済回復の両立には、PCR検査等の精度確保の元、大幅な検査拡大による感染者の早期発見と追跡・隔離が必要である。多様なPCR検査における測定性能や施設の能力の違いの実態の把握と改善を目的として、厚生労働省委託事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査業務」(2020年10月-2021年1月)において、①精度管理実態調査、②外部精度管理調査、これらに基づく③精度管理マニュアル作成が行われた。本講演では、COVID-19対策におけるPCR検査の運用と精度課題について整理し、今後の対応を展望する。

新型コロナウイルス感染症検査における大学病院の役割

—PCR 検査体制の拡充と地域医療への貢献—

長崎大学大学院 病態解析・診断学分野

長崎大学病院検査部

柳原 克紀

当院検査部は、2020年3月1日から、PCR検査を開始した。ルーチン業務を行いながらの検査であり、1日80検体程度であった。2020年4月、長崎港内で停泊中であつたクルーズ船のクラスター発生などもあり、ニーズが高まり、急速に検査数を増加させる必要があつた。まず、微生物検査室9名、遺伝子検査室6名の臨床検査技師からなる新型コロナウイルスPCR検査チームを編成した。

検査数の増加には、自動化が必要と判断し、大型分注機を導入した。これにより1日あたり最大500-600検査が可能になった。多数の検査を行うようになったことで、院内および院外の医師からも問い合わせも急増した。このような業務は検査部医師が対応することで円滑に進む。教室の助教ポストを一名増員し、感染症・微生物を専門とする医師を配置した。長崎県医師会から要請があり、県内の医療機関からの検体も受注している。これは、検体搬送体制、集合契約などいくつかのハードルがあつたが、構築することができた。新興感染症へ対応するには、医師と臨床検査技師の協働が必要であることが認識できた。

求められる臨床検査部であるために —新型コロナウイルス感染症検査を通して—

信州大学医学部附属病院 臨床検査部
松本 剛

新型コロナウイルス感染症の流行から1年以上が経っているが、未だに終息の目途は経っていない。新型コロナウイルス感染症は現時点で指定感染症であり、新型コロナウイルス感染症と診断されれば入院勧告がされる。その診断は SARS-CoV-2 PCR 検査や抗原検査によるため、検査室の役割が大きくなっている。正確な検査結果を迅速に返すことは検査室の重要な役割ではあるが、それだけで臨床検査部の役割を果たしているとは言えない。臨床検査部の院内での役割を決めるのは、各診療科であり、他部門・部署である。新しい重要な検査が導入されたときに、臨床検査部は検査を行うだけでなく、検体採取の方法、検査対象、検査結果の解釈などを院内にわかりやすく周知する必要がある。また、検査全体のシステム作りを臨床検査部が行うことで、今までになかった臨床検査部の役割を創造することができる。本シンポジウムでは当院の臨床検査部の取り組みを紹介する。

市中教育病院における新型コロナウイルスの検査

聖路加国際病院 臨床検査科／感染症科
上原 由紀

聖路加国際病院では 2020 年 1 月の都内初の COVID-19 症例受け入れに始まり、多くの症例を受け入れてきた。一方、それまで遺伝子検査は何も院内に導入していなかったため、並行して新型コロナウイルスの検査体制確立を進めることとなった。

2020 年春の「第 1 波」は外注 RT-PCR で乗り切り、夏の「第 2 波」は迅速抗原定性検査の導入で乗り切り、ようやく 2020 年 11 月から院内に遺伝子検査を導入した。機器購入の予算はほぼ補助金である。測定手技の簡便性、渡航前検査の厳しい要件、他の検査への汎用性、故障時のバックアップ利用などを考え、最終的には 4 種類の機器を導入することとなった。当院における遺伝子検査導入の障壁は、予算、人手、そして保険点数が低い、あるいはつかない検査が多かったことが挙げられる。今回の新型コロナウイルスの流行が、せめて医療機関における遺伝子検査の正当な普及と利用を促すことを期待する。

広告協賛各社御芳名

◆ 広告

- ・アークレイマーケティング株式会社
- ・株式会社秋田医科器械店
- ・アストラゼネカ株式会社
- ・株式会社LSIメディエンス
- ・グラクソ・スミスクライン株式会社
- ・株式会社サノ
- ・シスメックス株式会社
- ・株式会社テクノメディカ
- ・デンカ株式会社
- ・一般社団法人 日本血液製剤機構
- ・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- ・ブルカー・ジャパン株式会社
- ・ベックマン・コールター株式会社

◆ 協賛

- ・株式会社中央化学
- ・東北化学薬品株式会社